

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	Effect of anti-citrullinated peptide antibody value on the refractoriness of rheumatoid arthritis to biologic and targeted synthetic disease modifying anti-rheumatic drugs（シトルリン化たんぱくに対する自己抗体が関節リウマチ治療に与える影響に関する調査）
当院の研究責任者 （所 属）	前田昌俊（整形外科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本 研 究 の 目 的	関節リウマチ患者において、シトルリン化たんぱくに対する自己抗体（ACPA（anti-citrullinated protein/peptide antibody））が治療成績にどのような影響を与えるか後ろ向きに調査します。
調査データ該当期間	2019年1月から2020年12月まで
研究の方法（使用する 資料等）	当院で関節リウマチ治療を受けられた方の診察所見および検査結果
試料/情報の他の機関 への提供	なし
個人情報 の 取 扱 い	個人の特定に繋がる情報を除いてデータ利用します。研究成果の公表においても個人が特定されることはありません。
本研究の資金源（利益 相反）	なし
お 問 い 合 わ せ 先	朝日大学病院 整形外科 准教授 前田昌俊 TEL：058-253-8001
備 考	